

児童発達支援における自己評価結果(公表)

公表: 年 月 日

事業所名 鳥取県立総合療育センターのびっこワールド

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・コロナ禍で人数制限していることもあり、十分スペースを取れている。 ・制限解除後は、利用者数増により密になることが想定されるため工夫が必要。	・登園人数が増えることが想定されるため、活動時に換気を行ったり、同席する保護者の人数への配慮などの工夫が必要と考えている。
	2	職員の配置数は適切である	○		・多職種が配置され、それぞれの役割で業務を行っている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・視覚的な環境整備をしている。バリアフリー環境も整っている。食事、お集まり、運動と部屋ごとに活動内容を分けて分かりやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎朝と週末の掃除、活動が終わる度に使ったおもちゃの消毒を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・毎日、活動の前後に活動の狙いの確認と振り返りを行っており全職員が参加している。 ・職員間での意見交換は随時行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・毎年の事業所評価を実施しているだけでなく、日々の活動で保護者とコミュニケーションをとり意向の確認を行っている。 ・カンファレンス前には保護者アンケートを実施している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・HPでの公開も行っている。また、活動についてもHPに載せている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・センター全体での第三者評価を定期的に受けている。 ・中にはすぐに改善されないこともあると感じている。	・センター全体で取り組むべき課題もあり、即時の対応が難しいものもあるが、のびっこで対応できるものは即時対応を心がけている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・研修に参加できるように配慮されている。 ・CDSIに入会し、オンライン研修も含めて積極的に研修に参加している。	・外部機関との合同研修などでできればよい
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・半年ごとに各種評価を実施している。個別支援計画は課題整理表で根拠など示しながら作成している。 ・前カンファレンスも多職種で丁寧に行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・活動を設定する際、それぞれの支援計画を意識している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・毎日、各職種ごとのねらい、知識を共有しながら立案している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・主な活動は季節に合わせて毎月変更し、その日の利用者毎に細かく内容は適宜変更している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・個別支援会議前に実施する評価など必要に応じて個別での活動を設けている。	・ニーズや発達段階に合わせて外来個別療育に移行するケースもある。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・毎日必ずミーティングを行い、来園前に職員で打ち合わせをしている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・毎日振り返りを行っている。	・振り返り時間を短縮できるような効率的な方法を検討したい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・それぞれの業種ごとに役割を意識した記録を残している。 ・前回の様子を記録で確認し、次の活動立案に活かしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・半年ごとに見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・必要に応じて開催を依頼するようにしている。相談支援事業所から出席依頼があれば必ず出席している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・市役所の保健師との連携(会議参加依頼)、保育園などとの連携(療育ノートでの情報共有や園訪問、のびっこ見学)を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-	・医療的ケアが必要な子どもの利用者がいない	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-	・医療的ケアが必要な子どもの利用者がいない	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・移行支援会議、入園後フォローを行い、よりスムーズに次の利用先に行けるように取り組んでいる。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	-	-	・今年度は対象者なし ・早期(年少頃)から保護者に呼びかけし説明会や見学を行う機会を調整、サポートしている。	・小学校と情報共有する機会が少なく、もっとノウハウを身に付けていくことも必要である。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・地域の児童発達事業所との意見交換会を行い、地域全体の資質向上を行う、きっかけづくりを行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	・コロナ禍のため地域の園との交流は困難であるが、地域の公園や施設に行きそこで出会った子どもたちと交流する機会はある。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	・今回案内が上手く届かず参加できなかった	・案内が届くように依頼をした。今後は案内があれば積極的に参加する。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・親子通園なので活動中に気付いたことや、活動後など保護者と振り返り共通理解できるよう話をしている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・年に1クール実施。定期的に振り返りの会を行っている。 ・プログラムを計画し、実施している	ペアトレをマネジメントする専門性の高いスタッフの配置があると良いと感じている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・利用契約時、変更時に書類を提示し説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・個別支援会議を開催し、各職種から説明している。会議とその前のアセスメントで保護者の意見、想いをしっかり聞き取っている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・登園時に口頭で行ったり、ノートでやり取りしながら悩みなどにタイムリーに対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・父だけで来やすいよう、パパデー、パパ会を開催している。 ・パパ会、ママ会も含め保護者会を積極的に実施している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・1か月に1回発行しており、保護者に渡している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・HPなど不特定多数が目にするものは特に注意している。内容や写真を院長まで確認し、写真掲載の可否を半年ごとに保護者に確認している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・療育ノートを使いお互い意思疎通、情報伝達をしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・コロナ禍ということもあり外部との交流はできていない。	・外部行事に参加を促し、スタッフもボランティアで参加している。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・1か月に1回、いろいろな状況を想定した避難訓練を行っている。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	-	-	・現在アレルギー対応が必要な児童なし	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・院内に虐待防止委員会があり、研修も行っている。	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	・契約時に説明しているが、全ての児童の個別支援計画には記載していない。	・今後は安全配慮についてすべての児童の個別支援計画書に明記する。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。